

放射線技術科支部会報

Vol. 9 1996年9月15日発行

発行人 末森慎治（1期生）
編集 黒住 晃（4期生）
編集発行 川崎医療短期大学同窓会
（松丘会）放射線技術科支部
〒701-01 倉敷市松島316
☎086-462-1111（3055）
印刷 西日本法規出版株式会社

今後の同窓会に期待する事

大阪警察病院 田中 淳 司（1期生）

私は、大阪出身で第一期卒業です。同期には、各分野で活躍中の方が多くこの会報に良く登場する人物では、末森会長、小川倉友会会長、井上、北山、松田、金田氏などがいます。大阪方面では、日生病院在津、播本、高鳥（旧姓）などとたまに会って飲んでいます。

申し遅れましたが、少し自己紹介をいたします。昭和55年卒業後、兵庫医大中放部に就職し、2期天辰、3期尾崎などの面倒を見て（見てもらった事の方が多いが）、59年に縁あって大阪警察病院に移り、現在に至ります。今は、副技師長格の主査及び取扱主任者として業務を行っております。この間に、原著1編、総会発表12回の技術学会活動および他雑誌原著7編などがあります。

たいへん少ない経験ではありますが、この面から本学に対して、日頃感じている事を申し上げます。ほぼ毎年、技術学会総会には参加しておりますが、同窓会を開催地で是非行ってもらいたいと思います。他の学校は、コニカ雑誌等に案内を掲載して行っているようですが、本学では一度もないのではないのでしょうか。全国から本学出身の優秀な人が集まるのですから、そこで先輩、後輩の顔を覚え、演題を出している人がいれば聞きにも行くと思います。病院名と名前では知っている人でも、意外な人が本学出身者である事がわかるかもしれません。

やはり、この世界は狭く、横のつながりも大切であると思う事が、年齢と地位が上がるに従って感じる事が多くなります。たとえば、広島にも県立医療短大ができたように、これからは、新卒者の就職口だけでもたいへんだらうと思うからです。本学出身者もある程度は連携し、刺激し合うべきであると考えます。今回、学会の大御所である山下教授も阪大から来られたのですから、会報で会員の発表演題だけでも調査し掲載してもらいたいと思います。これにより、この分野ではあの人が本学出身者である事がわかりますし、これから、その分野を研究する人も先輩後輩の中であれば少しは聞き易いと思うのですが。

また、インターネットのホームページを将来的には絶対開設すべきと考えます。川崎学園のページがあれば安くできるのですが…。学校案内は当然として、同窓会としては、双方向なので行事案内とその賛否、求人求職情報なども簡単に載せる事ができます。ページの会議室では、ある事柄について全世界から多人数で議論する事も、自ら提案する事もできます。会員の親睦にかならずや有効になると思います。（私へのe-mailは、penguin@interlink.or.jp）

本学も、今春には17期生を送り出し、総計877名もの卒業生数となった事を考えると、もっと、「川崎出身者」として表舞台に立っても良いと常に感じていたために、役員の御苦勞も知らずに、勝手な提案をさせてもらいました。これも、愛校心からの発言とお許し下さい。

vol.8で副支部長の松浦氏が述べているように、支部と会員の距離が少しでも縮まる事を願いなが

ら、来春の横浜での同窓会を楽しみにしております。

(私の得意な分野)

パワースペクトル積分値を用いた硫酸バリウム造影剤付着度の客観的評価, 投稿中

Digital Radiography の基礎的検討, 38回総会, 82. 4

X線断層撮影像の周波数解析, 39回総会, 83. 3

低コントラスト分解能の数値評価について, 40回総会, 84. 4

大腸ポリープと糞塊の判別 ～パーソナルコンピュータを用いた多変量解析, 42回総会, 86. 4

大腸ポリープと糞塊の判別 (第2報), 43回総会, 87. 3

TLDを用いた個人被曝測定システムの使用経験, 17回秋期学術大会, 89. 10

運動負荷201Tl心筋シンチグラムによる冠動脈病変の推定, 47回総会, 91. 3

大腸ポリープと糞塊の判別 (第3報) ～データベースを利用した診断支援システム～, 19回秋期学術大会, 91. 10

周波数成分強度値を用いたバリウム造影剤付着の定量評価, 50回総会, 94. 3

周波数成分強度値を用いたバリウム造影剤付着の定量評価 (第2報), 51回総会, 95. 4

透過原稿用スキャナーを画像入力装置として用いた時の問題点とその補正, 52回総会, 96. 4

Mammography における Dense Breast に対する画質の改善, 52回総会, 96. 4

「川崎卒」この三文字の重み・・・

広島通信病院 石田 順一 (2期生)

川崎医療短大放射線技術科の2期生である小生が卒業して早15年の月日が経っています。その間、技師法の改正によりMRI検査・超音波検査・無散瞳眼底検査等が我々、診療放射線技師の手で可能になりました。法改正前より超音波検査をしていた小生にとってはうれしいことでしたが、これからの学生にとっては勉強の範囲が広がり大変かも知れません。しかし、学生時代はただ単に教えられることを覚えていけばいいのだから楽です。何と云っても教えてくれる人がいるのですから…。

就職後も確かに先輩技師がいるところがほとんどでしょうし、苦勞することもなく仕事をしているのだろうが「いつまでも受け身の勉強で本当にいいのでしょうか」と思います。もしも、教えてくれる人がいないのに自分が新しい検査をする事になった場合どうしますか？自分でがんばって勉強するしかありません。小生の場合も超音波検査をはじめた当初は他にしている技師もほとんどいない状態であり、学生時の受け身の姿勢では何もできずに大変苦勞したことを覚えています。近年の医療分野の進歩はすばらしいものがありますが、その進歩に対しての我々技師の向上心も負けてはいけません。今に満足して新しいことへのチャレンジをやめてしまっただけでは技術・知識の向上は到底無理です。技師の世界でも「生涯教育」は、とても重要なことだと思います。

ちまたでも、「保健衛生学士を…」との声がよく聞かれますが、幸いにも我々の学校は短大です。31単位で学士への道が開かれているのではないかと思うのだが今更、テストは受けたくないとも思いません。900名余りの卒業生の中からいったい何名の学士がでることや楽しいような、こわいような…。多くの同級生が鈴鹿の社会人特別コースや放送大学で学士目指して勉強を始めたなら小生もがんばって見ようと思いますが、只今はまだ考え中!!!

17期生までで、900名余りの卒業生がでて、川崎も少しは名前が知れるようになったと思うのは小生だけでしょうか？900名という数が多いか、少ないのかはわかりませんが、中四国なら周りを探し

て見れば先輩・後輩の一人や二人必ずいると思います。この900名の卒業生の共通点は、診療放射線技師であること、しかも「川崎卒」の3文字も一緒に背負っていることだと思いますが、歴史が浅いせいも卒業生間のつながりは同級生を除いて薄いような気がします。知らない者同士だから仕方がないかも知れませんが、少し悲しい気もします。同じ学校の卒業生なのだからもっとつながりを持ってもいいんじゃないでしょうか？川崎卒のネットワークから技師のネットワークを作ってみませんか。そうすればきっと入手できる情報が増えますし、技術・装置などについては生の声が聞けるようになります、とても役に立つと思いますよ。川崎卒の三文字ももっともっと活用してください。そして川崎卒の三文字の重みも少し考えてみてください。あなたにとってこの三文字は…。

神秘の国インド

赤澤裕二（8期生）

“神秘の国インド・ベナレス8日間”と銘打ったツアーに93年の夏参加した。

ガンジス川中流域、ヒンドゥー教の聖地ベナレスは聖地のなかの聖地、ヒンドゥー教徒のエルサレムである。ヒンドゥーの信仰に拠れば、ガンガー（ガンジス川）の聖なる水で沐浴すれば全ての罪は浄められ、ここで死に、遺灰がガンガーに流されれば輪廻からの解脱を得るといふ。ここベナレスには、インド全国から年間百万人を超える巡礼が訪れる。

デリーから寝台列車で約14時間、ベナレスの玄関ムガルサライ駅は早朝にも拘らず人で溢れていた。駅前にはドロドロに泥かるんだ道路に沿って、今にも崩れそうな粗末な商店が軒を連ねる。迷路のように入り組んだ狭い道を、何百という人力車がひしめき合って流れてゆく。巡礼、乞食、聖者、うろつく牛、屋根を渡る猿、食物や排泄物の臭い、さまざまなものが平静な調和の内に共存する。

ベナレスは寺の街である。シヴァ神を祀るビシュワナート寺院やドゥルカ寺院から名もない小さな祠まで含めると、その数は三千を超すといわれる。市の南部に広がる広大なベナレス・ヒンドゥー大学の構内に白くそびえるビシュワナート寺院から人力車で北上すると、ヒンドゥー寺院の尖った屋根が次々に過ぎ去ってゆく。細い路地が縦横に走る古い街には真鍮細工の店が軒を連ねる。

翌日の早朝、我々はガンガーの川辺へ向かった。日が僅に軒端に射し込む細径の両側には、揚物や菓子を売る店、星占い師の家、穀物を量り売りする店などが立ち並び、悪臭と湿気に満ちていた。ここを通り過ぎてガート（沐浴階段）に降りると何百、何千という半裸の男女が沐浴を始めていた。男性は白いドーティーで腰だけを覆い、女性はサリー姿のままガンガーの濁った水に腰まで浸り、口を濯いでいた。シュロを編んだ大きな日除傘の下でバラモンが沐浴を終えた人々に説教を垂れ、浄めの印に赤い粉末を額に付ける。ガートから小舟に乗ると、ガートの背後にムガル帝国から英植民地時代にかけて各地のマハラジャが造営した石造りの館や別荘が城壁のように連なる。人々が沐浴するガートの下流に位置する露天火葬場であるマニカルカガートでは、次から次へと遺体が焼かれ、その灰がガンガーへと流される。

ヒンドゥー教徒にとって実定法としての効力を持つ『マヌ法典』は、輪廻転生を田の水が稲を育み、果実が結実するのに等しく日常繰り返される自然として捉える。巨大な貧富の差を生むカーストもこれに等しく当然のこととして受け入れられている。ベナレスには近代国家では覆い隠されている自然と人間の営為がそのまま露程され、放置されていた。このような、我々の日常とは余りにも掛離れたインドの人々の感性を我々は神秘的と感じるのであろう。そして、94年の夏も再びインドを旅したのであった。

川崎医療短期大学同窓会（松丘会）代議員会報告

平成8年5月18日（土）15：00～

場所：つしま苑

副支部長 荒尾信一（支部長代理）

1. 平成7年度 事業報告

資料に基づいて以下の事業報告がなされ承認された。

(1) 20周年記念事業

ア. 第4代学長岡田政敏先生の肖像画作成（H7.11.1完成）

イ. 記念講演会・総会・合同同窓会開催（H7.7.23）

ウ. 会報第4,5号発行（H7.5.22, 11.1）

(2) 役員改選

任期満了に伴い、新たに平成7年10月1日～平成12年9月30日までの任期中で任命された。放射線技術科卒業生では理事が荒尾信一氏（8期生）から小橋秀樹氏（4期生）に変更となった。

(3) 「岡田政敏先生肖像画」除幕式および御退任についての記念品贈呈式

平成7年3月31日付で御退任された第4代学長岡田政敏先生の肖像画を20周年記念事業の一つとして作成し、平成7年11月1日に除幕および記念品の贈呈を行った。

(4) 第4代学長岡田政敏先生勲4等瑞宝賞叙勲に対しての花束贈呈（H8.1.4）

(5) 同窓会入会式の開催（H8.3.14）

放射線技術科支部からは支部長代理で副支部長荒尾信一氏が出席した。

(6) 会員名簿の発行（第21号）

(7) 平成7年度卒業生への記念品の作成・贈呈

記念品は、川崎医療短期大学の写真のテレフォンカード（50度数）。

(8) 学園祭への協力（H7.10.14～15）

パーソナリティコンテスト、仮装行列に同窓会会長賞贈呈。

(9) 役員の派遣

平成7年度川崎医療短期大学入学式に会

長、卒業式に副会長がそれぞれ派遣された。

(10) 川崎医療短期大学学報の「同窓会だより」の原稿執筆

(11) その他

各会議が以下のとおり開催された。代議員会、常務理事会（3回）、部局会議（渉外調査局（1回）、企画局（2回））。

2. 平成7年度 会計決算報告および監査報告

資料に基づいて会計決算報告がなされた。それに引き続き妥当適正に処理された旨、監査報告があり、承認された。

3. 各科支部事業報告および会計決算報告

資料に基づいて各支部より事業報告ならびに会計決算報告がなされ、すべて承認された。

4. 平成8年度 事業計画（全て承認）

(1) 同窓会テレフォンカードの図案公募

以下の趣旨により同窓会テレフォンカードの図案を公募する。

a. 医用デザイン科支部設立記念。

b. 川崎学園の中での短大同窓会のPRおよび、卒業生の紹介。

c. 現在のデザインは平成5年より使用しているため新デザインにしたい。

公募の対象は、同窓会会員、短大在学学生、川崎学園職員とし、応募締切りは平成8年12月31日。選考は1月の常務理事会で行う。最優秀賞（1点）には3万円相当の記念品、テレフォンカード、優秀賞（数点）には1万円相当の記念品、テレフォンカードを進呈する。

(2) 平成8年度卒業生への記念品の作成・贈呈（例年通り）

(3) 会員名簿の管理・作成・発行（例年通り）

(4) 同窓会入会式の開催（例年通り）

(5) 学園祭への協力（例年通り）

5. 平成8年度 会計予算案

資料に基づいて会計予算案が提示され、承

認された。

6. 各科支部 平成8年度事業計画

資料に基づいて各支部より事業計画が述べられ、すべて承認された。

7. 会費改正について

同窓会本部会費は終身会費であり、現在の会費（入会金3,000円、会費7,000円）は5年前から実施しているが、栄養科のように4年制大学への移行による収入減、物価の上昇等を考慮して来年度入会者より入会金5,000円、会費10,000円の合計15,000円とすることが承認された。

8. 医用デザイン科支部の開設について

平成9年3月に第1期生卒業のため支部が設立されることが承認された。なお本年度予算から支部設立準備金として各科予算の半額が計上されることになった。

9. 新代議員紹介

放射線技術科第17期生から谷忠司氏が新

規、また第8期生代議員が赤澤裕二氏から大島康氏に交代したことが発表され、承認された。

10. その他

(1) 現在の会員数（7,105名）が報告された。放射線技術科支部は、877名である。

(2) ある通信社から放射線技術科卒業生へ「日刊スポーツに短大の広告を掲載したいのでコメントと15,000円を『寄付』としてお願いしたい。」と電話連絡があり、受けた本人は短大に確認してきたが短大側から通信社に依頼したり、広告を出す予定はないことを回答した。今後もその予定はなく、もしこのような連絡があった場合は、短大の事務室か同窓会本部役員に連絡をお願いしたい。

(3) 来年度全体の名簿の販売を予定している。

平成7年度 第2回代表者会議事録

日時 平成8年3月23日（土）午後3時
～午後5時30分

16期生 内田敏敦
(以上18名)

場所 川崎医療短期大学 300号教室

出席者 支部長 末森慎治
副支部長 荒尾信一
松浦潔行
会計 天野貴司
坂 麻由香
監査 富田正二
小椋一作
運営委員長 黒住 晃
運営委員 水上 洋
代表者 1期生 井上博和
3期生 今井章人
5期生 山本浩之
6期生 引野元裕
7期生 池長弘幸
10期生 吉田耕治
12期生 角場幸記
14期生 甲谷理温

議事の経過および結果

末森支部長のもとに平成7年度第2回代表者会を開会、挨拶の後、支部長末森氏を議長に選出し、議事に入った。

(1) 支部役員について（末森）

●平成8年3月より第8期生代表者を赤澤裕二氏から大島 康氏（川崎医大附属病院）へ変更

●平成8年4月より第17期生代表者に北谷文章氏（倉敷記念病院）が新任

(2) 平成7年度事業経過報告（末森）

●会報の発行（Vol. 7, Vol. 8（平成8年度に発行予定））

●会員名簿の充実（コンピュータ化）

●九州・山口地域支部（倉友会）への助成金

●九州・山口地域支部（倉友会）平成7年度総会への派遣（松浦）

- 第9, 16期生同窓会開催に助成金
 - 支部会費の徴収(年会費1000円)
 - 支部規約及び支部各種規定の改正
 - 運営委員会及び代表者会の開催
 - 同窓会入会式(平成8年3月14日)への出席(荒尾)
- (3) 平成7年度決算経過報告(天野)
- 〈質疑〉
同窓会開催助成金が1人100円というのはどこからでたのか?
- 〈応答〉
往復葉書代である。
- (4) 平成7年度会計監査報告(富田・小椋)
- (5) 平成8年度事業計画案(末森)
- 同窓会開催助成金の増額について
一期あたり年一回につき10000円を考えている。
- 〈質疑〉
予算的にどうなのか?
- 〈応答〉
可能であると思う。
- 〈質疑〉
一期あたりすべて同額にすると卒業数の差で格差が出てこないか?
- 〈応答〉
従来の方法での増額も考えられる。
- 〈結果〉
従来の方法で1人あたり200円とした。
- 会報の発行について
来年度も年2回の発行でよいか?
異議なし。
 - 支部会費の徴収について
来年度も年会費1000円でよいか?
異議なし。
- 〈要望〉
支部会費納入状況を資料として欲しい。
- 〈対応〉
各期代表者に発送する。(発送済)
- 平成8年度の総会には特別な事がない限り代表者会でまかないたいと思うが?
異議なし。
 - その他例年に従い事業を行う予定である。

- (6) 平成8年度予算案(天野)
- 〈質疑〉
会議時出席者にジュース1本ぐらい出ないものか?
- 〈応答〉
予備費より会議費として10000円を前向きに検討する。
- (7) 倉友会総会(平成7年11月25日開催)への派遣報告(松浦)
- 会報 Vol. 8 参照
 - 平成8年度倉友会総会への参加者は支部長一任ということで承認された。
- (8) 放射線技術科支部発足20周年記念事業について(末森)
- 運営委員会案として
1999年(平成11年)3月に20期生が卒業するので開催時期として同年7月～8月ごろがよいのでは?
場所はホテル, 旅館, 川崎医療短大など
内容は記念講演, 記念品, 記念誌, 記念写真など。
- 〈意見〉
開催は日曜日とし午前中記念講演, 午後より懇親会でよいのでは。
何をメインで開催するのかを決めてから話を進めたらよいのでは。
- 〈結果〉
記念講演, 懇親会という構成で開催がきまった。
- 詳細は今後の代表者会等で検討する。
- (9) 支部会報について(黒住)
- 放射線技術科支部発足20周年記念事業のPRに努める。
- 以上, 提案及び報告事項を承認した。

平成7年度決算報告

収入の部 科 目	決 算	備 考
前年度繰越金	430764円	
同窓会(松丘会)援助金	130000円	
平成7年度会費	422000円	
第16期生支部会費	53000円	53人×1000円
利息	3368円	
合 計	1039132円	

支出の部 科 目	決 算	備 考
会誌印刷費	155890円	会誌Vol. 7 印刷費 75890円 会誌Vol. 8 印刷費 80000円 (予定)
通信費	129330円	会誌Vol. 7 発送費 60160円 会誌Vol. 8 発送費 65000円 (予定) 切手代 810円 代表者会案内発送代 3360円 コピー代 1500円
事務費	1500円	呉 一中庄 (1人) 11580円
交通費	46040円	児島一小倉 (1人) 20700円 呉 一中庄 (1人) 11580円 坂出一中庄 (1人) 2180円
地域支部助成金(倉友会)	28200円	(94人×300円)
同窓会開催助成金	9900円	第16期生(54人×100円)5400円 第9期生(45人×100円)4500円
積立金特別会計繰入金	100000円	
合 計	470860円	
残 高	568272円	

積立金特別会計決算

科 目	決 算	備 考
前年度繰越金	100000円	
一般会計繰入金	100000円	
合 計	200000円	(平成8年3月31日現在)

平成8年度予算案

収入の部 科 目	決 算	備 考
前年度繰越金	568272円	
同窓会(松丘会)援助金	130000円	
第17期生支部会費	44000円	44人×1000円
平成8年度支部会費	400000円	400人(見込)×1000円
利息	2231円	
合 計	1144503円	
支出の部 科 目	決 算	備 考
總會運営費	100000円	
会誌印刷費	200000円	
通信費	250000円	
事務費	50000円	
交通費	150000円	
同窓会開催助成金	170000円	
倉友会助成金	36000円	会費納入人数(120人見込)×300円
積立金特別会計繰入金	100000円	
予備費	88503円	
合 計	1144503円	

積立金特別会計予算案

科 目	決 算	備 考
前年度繰越金	200000円	
一般会計繰入金	100000円	
合 計	300000円	(平成8年3月31日現在)

監査報告書

平成8年3月23日

川崎医療短期大学同窓会

(松丘会) 放射線技術科支部

支部長 末森 慎治 殿

(松丘会) 放射線技術科支部

監査 富田 正二

小椋 一作

平成7年度の会計及び会務の運営状況について平成8年3月23日川崎医療短期大学放射線技術科実験室において監査を実施した。その結果をここに報告する。

1. 会計

本会の平成7年度期末監査を本日実施しました。会計処理については適正に処理され、かつ、保管されており、代表者会において承認された予算に基づき会計が執行されていることを認めます。

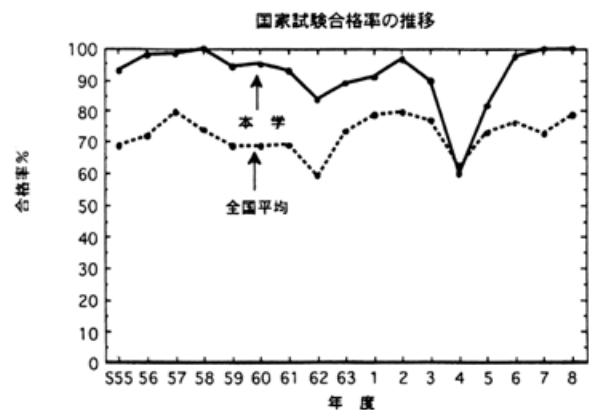
2. 会務ならびに事業

平成7年度の事業計画に基づき、実施資料や報告書、また会務運営に関する書類を閲覧した結果、支部会誌にも掲載されているとおり精力的かつ、計画通りに会務ならびに事業は遂行されたことを認めます。

トピックス

〔国家試験〕

第48回診療放射線技師国家試験合格発表が平成8年4月15日に行われ、予想通り合格率100% (44名受験) であった。全国の合格率は78.8% (1693名/2148名中) であり、昨年に引き続き好成績となった。



[ワッペン受章式]

第19回放射線技術科ワッペン受章式が平成8年8月31日に短大200号教室で開催される。本年度の第2学年(19期生)は63名でこの受章後、9月2日より臨床実習を開始する。授章式では、先輩からの激励のことばとして第13期生卒の村上勝哉氏に依頼した。また、受章式後の記念講演では兵庫県保健部地域保健課係長辛島博先生に来ていただき、「21世紀に向けての新しい癌放射線治療—西播磨科学公園都市における粒子線治療—」という題目で講演いただくことになっている。

[入学試験]

川崎医療短期大学では、学校案内を刷新し平成9年度の学生募集要項が完成した。試験日程は推薦入試が平成8年12月5日、一般入試が平成9年2月5日(学力試験)6日(面接)である。なお、放射線技術科では昨年まで実施していた推薦入試を実施しないので注意してもらいたい。推薦入試を実施するのは第二看護科、医用電子技術科、医用デザイン科のみである。なお、受験科目等、詳細の必要な方は短大入試係までお問い合わせください。

住所不明者リスト

- | | | |
|------|-----------|-------|
| 第2期生 | 小林 一好 | |
| | 芦原 裕美(難波) | |
| 第3期生 | 花木 昭 | |
| | 五十嵐典子(福田) | |
| 第4期生 | 大迫みち代 | 山下 卓士 |
| | 河野 篤 | 瀬戸口 勲 |
| | 梶川 真弓 | |
| 第5期生 | 中谷 良江(岡本) | |
| | 豊田 隆繁 | 政宗 真次 |
| | 福田 文子(丸山) | |
| | 藪 高志 | |
| 第6期生 | 西山 紀子 | 日高 徹 |
| | 平松 理光 | |
| | 渡邊由香里(古庄) | |
| | 神崎佐千子(宮城) | |
| | 村田 佳代 | 山口 裕之 |
| 第7期生 | 山本 有一 | 内田 健二 |
| 第9期生 | 橋本 政宏 | 松永さがみ |

- | | | |
|-------|-----------|-------|
| 第10期生 | 中津浜由恵 | 福満 誠一 |
| 第11期生 | 中山 朋美(大谷) | |
| | 西村 伸二 | 前橋 佳典 |
| | 中村 貴 | 吉岡 有里 |
| 第12期生 | 高尾 秀明 | 平川 満 |
| 第14期生 | 有働 朋男 | 梶原美奈子 |
| 第16期生 | 竹熊 香織 | |

平成8年8月21日現在

第8期生同窓会開催のお知らせ

朝夕かなり過ごしやすくなってきましたが、皆さん元気で頑張っているのでしょうか。我々、放射線技術科第8期卒業生も卒業してはや10年が過ぎようとしています。それぞれ職場、または家庭で忙しい毎日を過ごしていることでしょう。

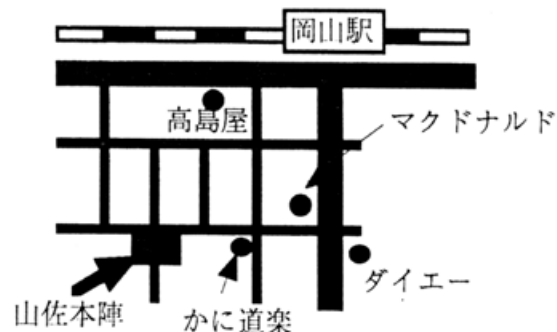
ところで前回、同窓会を開いてから約5年が過ぎました。そろそろ次の会を開催してはどうかと考えまして以下のとおり計画しました。懐かしい顔に会えるチャンスです。仕事、家族サービス、育児、出産等いろいろあるとは思いますが、万事お繰り合わせの上、多数の出席をお待ちしております。

記

日時：平成8年9月22日(日)18時より
場所：岡山 山佐本陣
住所 岡山市本町8-23
TEL 086-224-1241

会費：7,000円程度

(宿泊希望の方は、山佐本陣にて宿泊可能です。希望される方は返信用葉書に記入してください。宿泊費は後日連絡いたします。)



幹事 田淵 隆、田淵昭彦、荒尾信一